

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	消費生活	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-05	氏名	野上 茂之	
			電話	64-1818	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の消費生活の安定と消費者保護を推進する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	近年、私たちの暮らしは、社会経済の発展、商品、サービスの多種・多様化により、豊かで質の高いものになっており、一方では、販売競争の激化に伴う契約等に関するトラブルや商品の安全性や品質など、さまざまな問題が生じています。消費問題の対応は、消費者、事業者、地域、行政が一体となって取り組むとともに、消費者自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現を目指して行動することが一層重要であります。今後も消費者の意識高揚を図ることが必要となっております。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 消費者教育の実践 消費者保護の推進 リサイクル運動の推進 消費者団体の育成・支援 	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 消費生活推進事業	B	消費生活啓発事務	ソフト事業	35	604	31	804			
		消費生活相談事業	ソフト事業	0		0	2,216			
2 消費生活モニター事業	C	消費生活モニター事業	ソフト事業	124	583	136	600			
3 消費生活団体支援事業	C	消費生活問題研究協議会事業	ソフト事業	26		0	1,648			
		市消費生活問題研究協議会補助金	ソフト事業	202	998	202	228			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	2,572	5,865	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

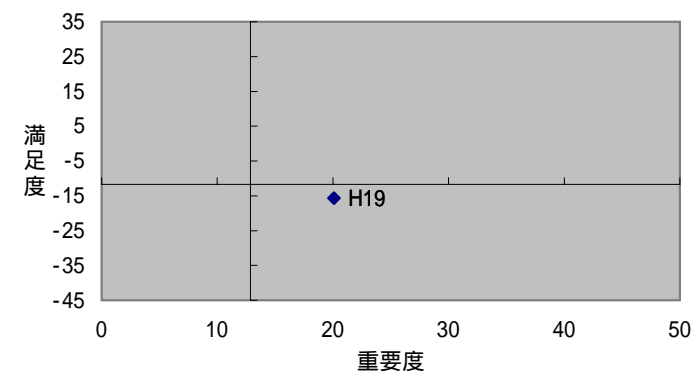
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
消費者生活センター	相談業務	市では、専門の知識を有する職員が不在であるため

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	参加者数を増加させることができた。	4	研修会参加者は増加し、相談件数が減少し、研修の効果が現れている。
2 事業構成の適当性	3	消費生活モニター事業の有効性が見直しが必要である。	2	他の行政機関と重複する事業は廃止するなど見直しを行うように
3 施策の有効性	2	市民ニーズにあった施策が必要である。(協議会の会員を増やすこと)	2	財源不足のなか、事業内容を充実させる必要がある。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	消費生活関係の研修会への参加及び協議会会員の増加を図るため、積極的な広報啓発事業を推進する必要がある。		消費者の自立を促進する事業を展開する必要がある。	
二次評価者コメント	マイバック運動の展開を望む。		平成20年度 予算の方向性 減配分	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	20.1		
満足度(%)	-15.7		



高	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
低	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	現時点では、妥当な調査結果であると思います。市民の関心度は高まっており、満足が得られる施策の展開が求められている。
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度			目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H23	H28		
1 消費トラブルにあったことのある市民の割合	目標	%	10.0		5.0	5.0		市民意識調査
	実績	%	11.2	8.7				
	達成率	%		87.0				
2 消費者からの相談件数	目標	件	30.0	30.0		30.0	30.0	被害者数の把握と被害防止
	実績	件	46.0	45.0				
	達成率	%	153.3	150.0				
3 高齢者からの相談件数	目標	件	50.0	30.0		20.0	10.0	高齢者(60歳以上)の相談件数/総相談件数
	実績	件	57.0	29.0				
	達成率	%	114.0	96.7				
4 消費生活研修会参加者数	目標	人	200.0	200.0		200.0	200.0	賢い消費者の増加
	実績	人	161.0	165.0				
	達成率	%	80.5	82.5				